

平成31年度 1学期始業式（定時制） 校長式辞

みなさん、おはようございます。

昨日の入学式で、新入生40名を迎えました。定時制生徒107名で、平成31年度が始まります。

今年度は、5月1日に新元号「令和」となります。「令和」には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められています。

古知野高校でも、生徒同士が、励まし合い、支え合いながら、学校生活を送ってください。

さて、新入生の皆さんには、昨日の入学式で高校生として心がけてほしいことを1つ話しました。

それは、「とりあえず、挑戦する」ということです。

誰も失敗はしたくない。失敗は怖い。だからといって、失敗を恐れて行動しなければ前には進まない。それならば、とりあえず、やってみよう。

「つらいこと、しんどいことから逃げたいと思うのは当然のことだけど、でも、エネルギーのある元気なときに、それに立ち向かっていく。そのことは、人として重要なことだ」とプロ野球の現役を引退したイチローが引退会見で語っていました。

2年生は、定時制の生活にも慣れ、学校とアルバイトなどの仕事との両立ができるようになってきたと思います。

3年生・4年生は、卒業後の進路を考えなければいけないときが近づいてきました。自分がこれからの人生で、何にこだわり、どのように生きていくかを決めなければいけません。

ここにいる仲間、家族や定時制の先輩、先生方とも相談しながら、人生の方向性をじっくりと考えてください。迷ったら、目の前のできることを、とりあえず、しっかりやってみてください。何かがつかめるかも知れません。

「私は、神様は乗り越えられない試練は与えない。自分に乗り越えられない壁はないと思っています。必ず戻ってきます。」これは、白血病を公表した水泳の池江璃花子選手のツイッターでのコメントです。

池江選手は、現在、厳しく、つらい白血病の治療をしています。この言葉には、必ず白血病を克服し、選手として絶対復帰する、という強い覚悟があります。

池江選手のように強い覚悟を示すと、多くの国民から励ましのメッセージが寄せられたり、骨髄バンクへの登録が増えたりします。

つらい思いをしながら頑張っている人には、思いやりのある言葉をかけたり、手助けしようとする行動をとったりする「人」が現われます。そんな「人の支え」もあってこそ、困難は乗り越えられます。

平成31年度は、令和元年の9月、ラグビーのワールドカップが日本で開催されます。そこで、皆さんに「GO FORWARD!」「行け 行け 前へ!」を合言葉にすることを提案します。

少しずつでも、一步一步、前へ進めるよう、全員でスクラムを組んで頑張りましょう。